

## 令和3年度沖縄国際物流拠点等活用推進事業の成果概要

事業実施主体	久米仙酒造株式会社
プロジェクト名	「沖縄県特産品・泡盛を活用した海外向けウイスキー」「沖縄県特産品を活用した県外向けリキュール」の増産プロジェクト
事業内容	弊社の「泡盛を活用したウイスキー（海外）」「沖縄特産品を活用したりキュール（県外）」が、大手メーカー競合の中でも需要・取引先が増加。コロナ禍でも2億円を売り上げた。現在は手作業が多く生産が追いつかない。増産設備を整え搬出量増加に寄与する。
今後の計画	2022年度：海外 35,000kg 国内 県外向け 126,000kg 2023年度：海外 38,500kg 国内 県外向け 136,500kg 2024年度：海外 42,000kg 国内 県外向け 157,500kg
最終目標と現状	最終目標) 令和8年度までに、海外へのウイスキー輸出量年間49 t (売上金額2.8億円)、県外へのリキュール出荷年間168 t (売上金額1.2億円)を目指す 現状) 令和4年度 リキュール搬出量 96,700kg ウイスキー搬出金額 5800万円
補助事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新ラインを設置することで生産体制が拡充</li> <li>瓶リンサー、充填機、打栓機の稼働能力が上がったことで、従前ラインの約1.5倍の生産量、搬出量が可能となった</li> <li>自動ラベル貼り機の導入により、従前に比べ約4倍の作業効率化を図ることができた</li> <li>生産効率の向上に伴い、生産計画をたてやすくなり、円滑な生産体制を構築</li> <li>生産量の向上に伴い、販路拡充に対応することが可能になった</li> </ul>

(設置済設備)



(リンサー)



(充填機)



(打栓機)



(キャップ供給機)



(自動ラベル貼り機)